

村民と直接対話しませんか?

福島・飯館村

再生

ふくしま再生の会 報告会

2014年5月25日(日) 12:00~ 東大農学部

主催:特定非営利活動法人ふくしま再生の会

共催:東京大学大学院農学生命科学研究科アグリコケーン
農における放射線影響フォーラムグループ(ACT82) /
東京大学農業復興工学会議

2011年6月以来、福島・飯館村に於いて、私たちふくしま再生の会は「共感と協働」をモットーに、「被災現地において」「継続的に」「被災者と協働して」を方針として、活動して参りました。全国260人以上の個人会員・法人会員がそれぞれの思いをもとに、地域の再生に役立つよう多彩な活動を自主的に取り組み、試行錯誤して参りました。

このほど、ふくしま再生の会の報告会を東京で開催します。今回は3年にわたって避難を強いられている福島・飯館村の村民の皆さん、特に若手の皆さんの参加が予定されています。そして元福島県知事佐藤栄佐久さん、お集まりの皆さんご自身も話し合いに参加し、「福島・飯館村再生の意味」を、それぞれの立場から考えていきたいと思ひます。

また、私たちの各種活動状況をポスター展示の形でまとめ、活動中の各員が展示ポスターの前で説明し、皆さんと討議を行います。多数の皆様のご出席をいただき、今後の原発事故被害地の再生の課題・取り組むべき具体策をともに考えていきたいと思ひます。



「次男さんの飯館音頭@小宮マキバノハナゾノにて」

〈ディスカッション〉

農学部1号館2階8番教室

Ustream
中継あり

- 1) 福島・飯館村の参加者がそれぞれの「再生の意味」について語ります 15:00~16:00
・佐藤栄佐久(元福島県知事)
・飯館村から 若者世代、壮年世代(10数名)
・村外から 若者世代、壮年世代数名
- 2) 村民との対話 16:00~17:00
参加者の皆さま全員がグループに分かれて、福島・飯館村の方々を囲んで、それぞれの「飯館村再生の意味」について意見交換・討論をします。
- 3) ディスカッション結果報告 17:00~17:30
- 4) 質疑
- 5) まとめと挨拶

〈ポスター展示〉

12:00~18:00 弥生アネックス1階セイホクギャラリー

- ・までい工法とその発展
大豆とそばなどの作物栽培
汚染水の田畑流入防止施設の開発
水流汚染の観測
田圃からの発生ガス観測
村の復興への夢
- ・放射線モニタリングプロジェクト
- ・サークルまでの活動と稲の試験作付け報告
- ・健康・医療・介護プロジェクト
- ・エアソール観測
- ・村の花と植物の観察・測定
- ・小宮桜植樹プロジェクト
- ・イノシシ捕獲・解剖・放射性物質測定プロジェクト
- ・山津見神社の天井オオカミ絵復元
- ・点滴養液栽培ハウスの建設
- ・村境一周の線量測定、山地の動植物、村を全周する土塁の謎



「飯館村山津見神社のシンボルの狛犬」

〈飯館村写真展〉

〈キャンパスツアー〉

- 13:00~、14:00~ 1時間程度/各20名
- 土壌、作物、生物などのサンプル分析を担う「サークルまでの」のサークル室、放射能測定を行う放射性同位元素施設見学
- 〈レセプション〉 18:00~19:30
- 弥生アネックス1階セイホクギャラリー 参加費無料(軽食+飲料)
- パネリスト、出展者、参加者による自由な意見交換と交流

の意味

私たちが「一緒に考えましょう！」



「飯館村民の世代間連携」

プログラム

ディスカッションへの参加は事前登録が必要です。

右のQRコードからメールフォームよりお申し込みください(先着100名)



<http://kokucheese.com/event/index/171110/>

お問合わせ

「ふくしま再生の会」事務局

e-mail: desk@fukushima-saisei.jp

info: www.facebook.com/events/380762478732052/

